

# 嶺 岡 山

第180号

発行所  
嶺岡山編集委員会  
発行人  
大塚 英和  
印刷所  
鴨川印刷

## 中部航空方面隊副司令官(当時)

### 佐川空将補 部隊視察

7月20日(火)、第44警戒隊及び第1高射群指揮所運用隊峯岡山派遣班は、中部航空方面隊副司令官 佐川空将補の部隊視察を受察した。当日は好天にも恵まれ、入間基地から陸路で到着した副司令官は、庁舎前で所属隊員の出迎えを受けた後、午前中に幹部挨拶及び状況報告を受け、午後に施設巡視を行った。施設巡視においては、庁舎地区、山頂地区及び三角点等を巡視され、コロナ禍における部隊の感染予防対策や東京オリンピック・パラリンピック支援のための準備状況を实地に確認された。昼食時に千葉県特産の越前蕎麦を提供したところ、初めての食べ方であったようで、大変美味しそうに食された。視察の全行程を終えた副司令官は「短時間の部隊視察であったものの、各指揮官のもと、統率のとれた精強な部隊であることが確認できた。」と講評を述べ、隊員に見送られて基地を後にされた。



7月20日(火)及び21日(水)、中空副司令官の部隊視察に合わせ中部航空警戒管制団副司令 橋田1等空佐が来基された。副司令は本科学生として防衛大学校在学中に当分屯基地を研修した経験があり、今回は久しぶりの訪問となった。副司令は、中空副司令官の視察随員後、改めて隊員や装備品等の状況を实地に視察された。また、防衛大学校防衛学教育群の教官を勤めた経験もあり、隊員に対して米中関係をテーマとした防衛教養教育を熱心を実施された。隊員からは、当該テーマに関する多数の質問があったほか、空士隊員からは、昇任試験前日の最適な過ごし方について質問が出る等、和やかな雰囲気が進められ、副司令のお人柄がよく表れた視察となった。

## 中部航空警戒管制団副司令 橋田1佐 部隊視察



## 新型コロナワクチン 職域接種始まる。

峯岡山分屯基地所属隊員は、8月11日から海上自衛隊館山航空基地の支援を受け、新型コロナワクチンの職域接種を開始した。当時は、まだ自治体によるワクチン接種の対象が40歳以上であり、接種時期も9月中旬以降になる隊員が多数を占める状況であった。峯岡山分屯基地は所属隊員の約半数が基地内で集団生活を行っているため、1名でも感染者が発生した場合はクラスターにつながりやすく、任務遂行に影響しかねないリスクを負っている。今回の職域接種により、若年隊員を含めてより早期にワクチン接種ができ、任務遂行のための人的基盤の強化につながった。

併せて、峯岡山分屯基地は隊員の感染を局限するため、基本的な感染予防対策を講じており、営内生活においても常時マスクの着用を徹底するとともに、全隊員に携行用アルコール消毒液を配布して小まめに手指消毒を行わせる等、現在まで1名も感染者が発生させていない。

職域接種によるワクチン接種後も決して気を緩めることなく、感染予防対策を万全にし、部隊一丸となって常続不断の警戒監視任務を強靱に実施していく所存である。

